



年 組 名前

道新 ワークシート

春ひと足お先に 沼田で「雪氷桜」展示

【沼田】町内の雪の貯蔵庫で保管して開花期をずらした「雪氷桜」が、満開を迎え、町健康福祉総合センターを訪れる人の目を引いている。

桜は長さ1メートル弱から2メートルの枝の本。町内田島公園の「雪中米」を販売するなど、雪を活用したまちづくりに取り組む。雪氷桜は、2021年に札幌で開催された東京五輪マラソンの応援のために用意したのが始まり。

町利雪技術開発センター長の伊藤勲さんは「桜は人々を笑顔にします。ひと足先に春を感じてもらいたい」と話す。（右川英徳）



雪の貯蔵庫で保管して開花期をずらした「雪氷桜」。町健康福祉総合センターのロビーに展示され、ひと足早い春を感じさせている

2024年 3月9日(土) 朝刊 空知版 15ページ (記事は再編集しています)

- ① 次の文章は「雪氷桜(さくら)」について説明(せつめい)したものです。
()に文中の言葉を入れて、文章を完成(かんせい)させましょう。

雪氷桜とは、(ア)の貯蔵庫(ちょぞうこ)で保管(ほかん)して(イ)期をずらした桜のことです。桜は、2月末に貯蔵施設(しせつ)内の雪から掘(ほ)り出し、気温(ウ)度前後の室内に置(お)くと、約1週間で開花したそうです。

開花した桜は、枝(えだ)の長さが(エ)メートル弱から(オ)メートルで、種類(しゅるい)は、(カ)と南殿です。雪氷桜は、2021年に(キ)で開催(かいさい)された東京五輪マラソンの(ク)のために用意(ようい)したのが始まりです。

- ② 沼田町は、「雪氷桜」のほかにも、雪の冷気(れいき)でお米を貯蔵していつでも新鮮(しんせん)な新米の味と香りを楽しむことができるお米が有名です。そのお米を何(なに)というでしょう。